

国会や党

のEU離脱に向けた動きにも混

「臨時国会にあたり」

を含め、更なる経済成長を目指 完全脱却のために、予算や税制 した政策づく に議論できるような環境を整え ことになりました。デフレからの 国際社会においては、米中の 国力を高めるとは? り方を、与

私は、衆議院では経済産業委員 済産業部会長代理などを担う 労働委員会委員、自民党では経 会理事、憲法審査会幹事、厚生 における立場も変わり 臨時国会が始まり、 りに邁進してまい 野党で建設的 ました。

戦略」を車の両輪として遂行すを成す「経済戦略」と「安全保障します。それは国家戦略の根幹 乱が見られます。国内において 言力や外交力の向 なりません。「国 を図りつつ、我が国の国際社会に 消費税率の引き上げが予定さ は、来年は平成の御代が代わり、 る中で、国益を守り国富の増大 れ、再来年には東京五輪を迎え には、「国・ ける存在価値を向上させるた 国内外に様々な動きが見ら 中にある概念を図1 力」を高め 力」とは何か。 なけ に示 れ 私





①浄化槽推進議員連盟の事務局長として麻生財務大臣に申入れ ②服部八千代市長と共に文部科学省にエアコン設置予算につい ③熊谷千葉市長と自民党市議団と共に、文部科学省に エアコン設置予算について要望





第2回 小林鷹之君を応援する H5卒の会



①週末は国政報告、街頭演説 ②「平成30年自由民主党千葉県第三 選挙区支部党員報告会」を開催 ⑬地元の社会保険労務士の皆様と意 見交換 (4)開成H5年卒の仲間による「小林鷹之応援の会」

柏井浄水場 16酒々 井町の酒蔵の糀室で ⑪地元企業のおしほ ケーキ、チーズを美味 しく頂きました ②宮 本習志野市長と地元 ズを応援

国会閉会中に 地元の視察。



第10回

小林鷹之後援会「飛鷹会」

日本マクドナルドの ネス転換と変革(仮題)

日本マクドナルドホールディングス株式会社 取締役執行役員 宮下 建治氏

平成30年12月19日水

午前7時30分~ 午前8時~9時

: ホテルニューオータニザ・メイン 鶴西の間 東京都千代田区紀尾井町4-1

参加ご希望の方は下記の国会事務所までご連絡下さい。

小林鷹之事務所では、定期的に 「小林鷹之後援会『飛鷹会』朝食勉強会」を開催しています。



香澄後援会

コミュニティ助成事業 (自治宝くじ助成金) で製作した御輿は、 毎年8月の香澄夏ま つりにて披露してい ます。今年も小林鷹 之議員が一緒に御輿 を担いでくれました。

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員3期目。 Profile

Facebook www.facebook.com/hawk.kobayashi twitter.com/kobahawk kobayashi-takayuki.jp





〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-5 YYビル1 階 TEL047-409-5842 FAX047-409-5843



〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室

TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

「貿易戦争」が激しくなり、英国

2

を上げるために私が現在最も関心を持ち、早急に取わが国の国力を高める、すなわちイノベーション力

「データ・プラットフォーム(仮称)」の構築です

既述のGAFAやBAT(中国の巨大IT企業で

り組むべきと考えていることの一つが、国が主導する











④TBSニュースバード「~国会トーク~フロントライン」 ⑤「ENERGY for the FUTURE」誌で、山地憲

7 自民党青年局

諒一東京大学大学院准教授(左)と対談

役員·R&D統括本部長

で繋がる)などの技術革新は進み、それらを利用した

・ネッ

このように、イノベー

ションを生み出す源が情報力

いをする必要はありません。何故なら我が国には、国であるなら我が国として、GAFAやBATの後追

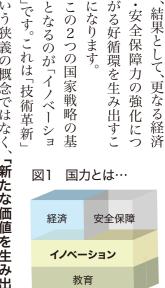
ち世界市場を制覇できると考えられているからです。 がその情報を使わざるを得ない存在となる、すなわ 業への展開が可能となる。さらには、他の多くの企業 果として顧客のニーズに合った商品開発や新たな事 することによってイノベーションを生み出し、その結

ぞれに集積している「膨大かつ質の高い」データが既内の大学、研究機関、企業、病院、自治体などがそれ

に存在するという強みがあるからです。その分散した

自動運転の実証実験も始まっています。

すべての根幹は教育



とになります

盤となるのが「イノベーショ ながる好循環を生み出すこ 力・安全保障力の強化につ という狭義の概念ではなく、「新たな価値を生み出 ン」です。これは「技術革新」 この2つの国家戦略の基

の概念です 築き上げ、世界中の人々の生活を一変させました。現 術を使って、販売や広告など巨大なデジタル市場を ゾン(頭文字をとってGAFAと呼ばれる)はIT技 在、AI (人工知能)や・ し、経済社会の大きな変化を創出する」という広義 たとえば、グーグル、アップル、フェイスブック、アマ oT(モノがインタ

削っています。なぜなら、こうした情報を集積・解析

め、各国が膨大なデータの集積のためにしのぎを あるバイドゥ、アリババ、テンセントの頭文字)をはじ

出すための学術的知識だけではなく、開発する側も にあるということです。 が求められる。すなわち「教育」こそがすべての根幹 それを利活用する側にも、価値判断や倫理や哲学 ません。従って、イノベーションは新たな価値を生み の発展のためにあるべきで、決して悪用されてはなり 努力と創造により生み出された新たな価値は、社会 我が国の国力を支えるのは「人」です。そして、多くの 的価値につなげていくのかを創造するのも人。つまり 知能(AI)」もデータを作りプログラミングするの をイノベーションへと導く発想をするのも人、「人工 ために重要であることは言うまでもありませんが、 も人。そして作り上げた技術をどのようにして社会 イノベーションの種(シーズ)を見い出すのは人、それ 技術革新そのものが、イノベーションの

でわが国のイノベーション力は格段に上がり、世界を

- ドできると信じています。

タを利活用することにより、イノベーションを起こ

し、できるだけオープンにして、それらの膨大なデ

情報を統合して「デー

タプラットフォー

ム」を構築

し、それを加速する。それが実現すれば、様々な分野

がらその萌芽を促し、国を支える大きな幹となるよ の役割は大きい。常に科学技術の可能性を確認しな う育てることだ」

右:水中浮遊式海流発電

外国人労働者

たな外国人材の受入れ政策」について、私見を述べま 務省設置法の一部を改正する法律案」、すなわち「新 られている「出入国管理および難民認定法および法 次に、この臨時国会で最重要法案として位置づけ

実証試験機「かいりゅう」(1H1) 左:地熱、水力、風力の各発電所(東

限はありません。 分野を大幅に拡大すると共に、特に、特定技能2号 なっています。端的に言えば、外国人労働者の受入れ 号」「特定技能2号」という類型を創設することに については、在留期間、家族帯同についても厳しい 私は、現時点で、これらの新たな在留資格の創設 この法案は、新たな在留資格として「特定技能」

については、慎重に考える必要があると考えます 小規模事業者をはじめとした人手不足が深刻化 そもそも、こうした案が出てきた背景には、中

で、成功している事例も拝見しました。 ない内容だと考えます よるとしても、この国のカタチを根本から変えかね の外国人材受入れ政策とは次元の異なるものです。 が足りないという話はよく伺いますし、実際に外国 ている現実があります。私自身も、地元において人手 いわゆる「移民政策」にあたるか否かは、その定義に 人労働力に頼る現場にも足を運ばせていただく中 しかし、今回の政府案の「特定技能2号」は、従来

①まず、「特定技能2号」の在留資格取得者について は、いったん入国を認めると、**我が国の都合で帰国**

> K を求めることは現実的に難しくなると思われる

てゆくかということだ。こうした分野における政治 くかを予測し、そのための政治の手立てをどう打っ

「政治の役割は先見性、どういう時代になってい

ています

が『科学技術と政治を語る』で次のように発言され

「科学技術立国」を推進された中曽根康弘大勲位

②東京五輪後の景況予測や、中長期の視点から今 況になった場合、外国人材と日本人とが職を奪 なされていないこと。仮に労働力が余るような状 後の人材の需給バランスについての定量的予測が 合う可能性も排除できないこと。

③受け入れる外国人への報酬額は日本人と同等以 ことが先決であること。 足にある分野で働く日本人の方々の処遇を改善 性がしっかりと担保されるのか疑問。逆に、人材不 上であることを確保するとありますが、その実効 し、希望と安心を持って働ける環境を作っていく

i

④外国人技能実習制度で入国した外国人の失踪者 守れなくなる恐れがあること 年々増えている失踪者対策、追跡が十分なされな いままでは、治安が悪くなり、国民の安全・安心を 数が2017年には7千人を超えている中で

⑤社会保障の観点から、今後受け入れる**外国人労働** 年金、医療、介護あるいは生活保護といったコス 者の数(帯同する家族を含む)、年齢構成、彼らの トの見込みが分からないこと

て、今回の外国人労働者受入れに関する法案につい は求められると私は考えます ては、中長期的な観点から検討していく姿勢がまず 移民政策の転換を図り始めていることなどに鑑み ば、将来に禍根を残すことになりかねません。移民受 入れに寛容であった欧州の多くの国、特にドイツが こうした検討なくして急いで法案を通すとすれ

平成三十年十一月吉日

泉誠院誠員

×

3